



Red Hat Application Interconnect 1.0

Skupper コンソールの使用

Red Hat Application Interconnect 1.0 で使用する場合 (限定利用)

Red Hat Application Interconnect 1.0 Skupper コンソールの使用

Red Hat Application Interconnect 1.0 で使用する場合 (限定利用)

法律上の通知

Copyright © 2023 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

このガイドでは、Application Interconnect サイトおよびサービスネットワークを監視する方法について説明します。

目次

はじめに	3
第1章 SKUPPER コンソールへのアクセス	4
第2章 SKUPPER コンソールを使用したサイトのリンク	5
第3章 SKUPPER コンソールの探索	6

はじめに

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) をご覧ください。



注記

この限定利用リリースは、すべてのお客様が利用できるわけではありません。
Application Interconnect の詳細は、[Red Hat の営業チーム](#) にお問い合わせください。

デフォルトでは、Application Interconnect サイトを作成すると、Skupper コンソールも有効にします。
Skupper コンソールの URL は、**skupper status** でサイトのステータスを確認するたびに表示されます。

第1章 SKUPPER コンソールへのアクセス

デフォルトでは、Skupper コンソールは、サービスネットワークルーターを作成するたびに使用可能で、**skupper-console-users** シークレットで利用可能な認証情報で保護されます。

手順

1. **skupper** CLI を使用して Skupper コンソール URL を決定します。以下に例を示します。

```
$ skupper status
Skupper is enabled for namespace "west" in interior mode. It is not connected to any other
sites. It has no exposed services.
The site console url is: https://skupper-west.apps-crc.testing
```

2. Skupper コンソールの URL を参照します。認証情報のプロンプトは、サイトが **skupper init** を使用してどのように作成されたかによって異なります。
 - **--console-auth unsecured** オプションを使用すると、認証情報の入力を要求されません。
 - **--console-auth openshift** オプションを使用すると、OpenShift クラスターの認証情報を入力するように求められます。
 - デフォルトまたは **--console-user <user> --console-password <password>** オプションを使用すると、その認証情報を入力するように求められます。
3. デフォルト設定 **skupper init** を使用してサイトを作成した場合は、**admin** ユーザー用にランダムなパスワードが生成されます。**admin** ユーザーがパスワードを取得するには、次のコマンドを実行します。

```
$ kubectl get secret skupper-console-users -o jsonpath={.data.admin} | base64 -d
JNZWzMHtyg
```


第2章 SKUPPER コンソールを使用したサイトのリンク

Skupper コンソールを使用すると、[CLI を使用したアプリケーション Interconnect サイトの設定](#) で説明されているように、要求タイプトークンを作成および使用できます。

前提条件

- それぞれ Skupper コンソールが有効になっている 2 つのサイト



手順

ブラウザーからクリップボードの使用を許可するよう求められる場合があります。この手順のプロンプトを受け入れる必要があります。

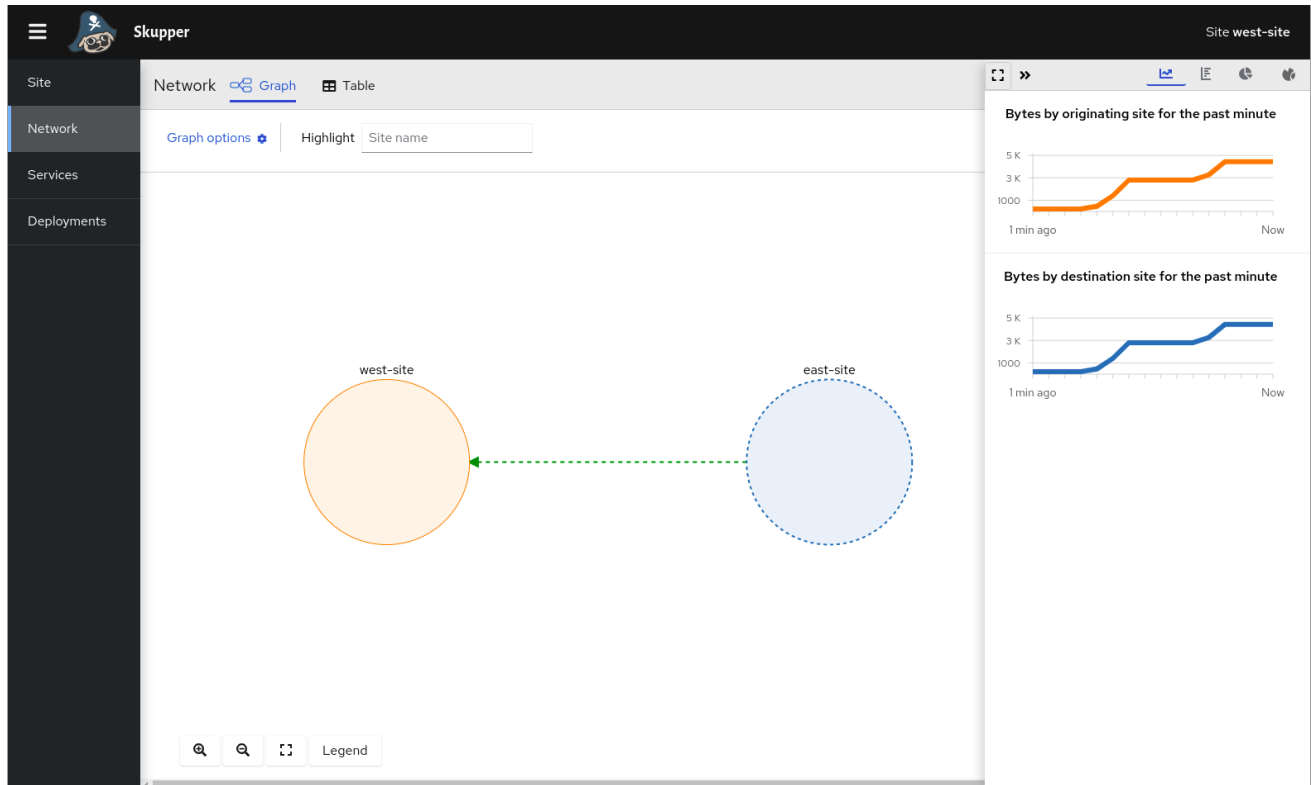
1. 最初のサイトのコンソールにログインします。
2. 左側のメニューの **Site** に移動します。
3. **Link a remote site** をクリックして、リンクの手順を表示します。
4. **Copy a token to the clipboard** をクリックします。
5. 2 番目のサイトのコンソールにログインします。
6. 左側のメニューの **Site** に移動します。
7. **Use a token** をクリックして最初のサイトからトークンを受け入れます。
8. **Site** ページの **Network details** セクションに両方のサイトが表示されていることを確認して、サイトがリンクされていることを確認します。

第3章 SKUPPER コンソールの探索

Skupper コンソールは、以下の概要を提供します。

- サービス - ローカルとリモートの両方のサービスネットワーク上で公開されるサービス。
- サイト - 現在のサービスネットワークへの Application Interconnect のインストール。
- デプロイメント - 公開されたサービスに関連するデプロイメント。

Skupper コンソールは、サイト間のトラフィックレベルなど、サービスネットワークに関する有用なネットワーク情報を提供します。



1. [Creating a service network with OpenShift](#) のチュートリアルを実行します。
2. Skupper コンソールに移動します。
3. **Network** メニュー項目をクリックします。east と west の両方のサイトで円で表示されている必要があります。
4. west の円をドラッグアンドドロップして、east の円の左側に配置します。
5. **Table** タブをクリックして、サイトをテキストアイテムとして表示します。このビューでは、選択したサイトに関連する詳細にドリルダウンできます。
6. **Deployments** メニュー項目をクリックします。このビューには、サービスネットワーク上でサービスとして公開されているデプロイメントが表示されます。この場合、コンソールには **hello-world-backend (east)** デプロイメントが表示されます。
7. **Services** メニュー項目をクリックして、サービスネットワーク上で公開されているすべてのサービスの詳細を表示します。



注記

2つのサービスがチュートリアルには含まれていますが、1つのサービス (**hello-world-backend**) のみがサービスネットワーク上で公開されます。

8. **Site** メニューをクリックします。このページは次のことを示しています。

- サービスネットワーク内のサイトの数。
- サービスネットワーク上で公開されているサービス。
- サービスネットワークで定義されているゲートウェイ。
- 現在のサイトのトラフィック。

改訂日時: 2022-07-03 00:31:11 +1000